



千葉商科大学

NEWS LETTER

—Vol.30— 2010年1月号

「千葉商科大学ニューズレター」は、教育・研究、地域連携、国際交流などさまざまな側面で行われている千葉商科大学の活動、「実学教育」のさらなる充実をめざした戦略的な取り組みなどの最新情報を、日ごろご支援いただいている皆様にお伝えしています。

ニューズレターの全文や記事の詳細は、本学 Web サイトに掲載されています。

<http://www.cuc.ac.jp/>

◆ご意見、ご要望をお寄せください◆

発行者
千葉商科大学
学長事務室
(戦略広報係)

TEL
047-372-4111(代)
FAX
047-373-9969
E-mail
p-office@cuc.ac.jp



2008.4～2015.3

本学は、(財)日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価で認定されました

千葉商科大学学長 島田晴雄からみなさまへ



学長 島田晴雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様、今年も思いを新たに、新しいチャレンジをお考えのことと思います。

千葉商科大学も、今年は大きく進化し、前進しようと決意しています。挑戦の課題はたくさんありますが、最大のテーマは、学内の教育革新です。

このコラムでもご報告いたしましたが、昨年11月に本学の戦略会議、全学教授会、そして理事会で決定された機構改革をふまえ、若手の先生方による「教育革新会議」が編成されました。これは、優秀で問題意識の強い学生さんがいる一方で、積極性の乏しい諸君が増えるなど学生の質の多様化に対し、どのような学生さんもそれぞれの潜在能力が十分に生かされ満足できるような教育を提供できる新しい仕組みを構築するための取り組みです。若手の先生方と職員からなる革新会議は、すでに熱心な討議を開始していますが、この1月と2月にオープンフォーラムも開き、全学の意見も吸収しながら新基軸を打ち出そうと努力しています。それを受けて4月からは、本学に「教育革新センター」が設置され、それを実現することになります。全国でも初めての試みなので、頑張りたいと思います。

また、読者の皆様に、2つの有益なプログラムをご紹介します。

ひとつは、3月から開設される千葉商科大学大学院修士課程の「中小企業診断士養成コース」です。実務に役立つ資格なので、ご興味のある方はぜひ独立大学院オフィスへお問い合わせください。

【中小企業診断士養成コースのお問い合わせ先】

独立大学院オフィス [TEL] 047-372-4111(代) [E-mail] grad@cuc.ac.jp

もうひとつは、会計専門職大学院が主催する「中小企業のための基幹人材養成特別講座」で、中小企業経営の神様と評判の高いベストセラー「社長のノート」(販売部数：124,000部)、「超・会社力」の著者 長谷川和廣氏による「社長の右腕」錬成講座です。1月20日からの開講ですが、まだ数席のゆとりがありますので、ご興味のある方は下記までお問い合わせください。

◆特別経営人材養成プログラム第一弾

「中小企業のための基幹人材養成特別講座」

多数の赤字会社を黒字化し、日本のゴーンと称される長谷川和廣氏を講師に迎え、同氏の経営ノウハウが詰まったベストセラー著書「社長のノート」、「超・会社力」をもとに、実務に即応するエッセンスを体得します。

■応募要領

会場：Galleria 商.Tokyo(丸の内サテライト教室)

日程：2010年1月20日～3月24日(全10回)18:30～20:40

定員：20名(定員になり次第締切)

受講料：200,000円

講師：会社力研究所 代表 長谷川 和廣 氏

詳細及びお問合せ先：独立大学院オフィス

[TEL] 047-372-4111(代) [E-mail] grad@cuc.ac.jp

平成21年度日商簿記検定1級合格者18名!

平成21年11月15日に行われた第123回日商簿記検定1級試験(合格率9.2%)において、本学より4名が合格、これにより平成21年度の日商簿記検定1級合格者は18名となりました。本学では、資格取得のための勉強会「瑞穂会」を開講し、日商簿記検定や税理士試験(簿記論)、公認会計士試験のための自主学習をサポートしていますが、自主学習の成果は着々と現れており、瑞穂会は平成19年からの累計で30名もの日商簿記検定1級合格実績をあげています。また昨年、会計ファイナンス研究科の在学

が、ファイナンシャル・プランニング技能検定(合格率10.79%)の1級に合格しました。

◆第123回日商簿記検定1級合格者

朝倉 翼 さん(商学科1年、旭川大学高校出身)
小谷 祐 介さん(商学科2年、君津商業高校出身)
羽根田 拓 さん(商学科2年、城南静岡高校出身)
渡 邊 翔 悟さん(商学科2年、木更津総合高校出身)

◆ファイナンシャル・プランニング技能検定1級合格者

磯 脇 賢 二さん(会計ファイナンス研究科1年)

ボウリング部/全日本大学ボウリング選手権大会5位、好投魅せる

平成21年12月3日~5日、文部科学大臣杯争奪第47回全日本大学ボウリング選手権大会が京都・MKボウル上賀茂で行われ、本学ボウリング部が男子5人チーム戦で見事5位の戦績をあげました。この大会は、学生連合所属の選手にとって1年で最大の目標となる大会ともいわれ、チームは秋吉浩樹さん(経営学科4年、犢橋高校出身)、押野和之さん(商学科4年、桶川高校出身)、小高涼太さん(経済学科4年、桶川高校出身)、江畑正俊さん(商学科3年、東京農業大学第三高校出身)、須々田大資さん(商学科2年、千葉明德高校出身)、室井勝さん(経済学科2年、安田学園高校出身)の本学を代表する実力選手で編

成されました。今大会の個人成績(関東)では、江畑正俊さんが見事1位になり、5位に小高涼太さん、9位に全日本ナショナルチームでも活躍中の室井勝さんほか多くの選手が好成績をあげました。室井さんは、昨年11月に行われた関東学生新人選手権大会でも2位の好成績をあげています。またボウリング部は、昨年9月~11月にかけて行われた関東学生秋季レギュラーリーグ戦(団体)において男子一部で優勝、同大会個人リーグ戦(ミドル)は、森研一さん(政策情報学科4年、京葉工業高校出身)が見事優勝を果たしています。今後も目を離せないボウリング部の活躍を応援ください。

政策情報学部 創設10年目の実績

社会で活躍する卒業生たち ②

創設10年目を迎えた政策情報学部は、これまで約1,100人の卒業生を社会の各分野に送り出しています。これらの卒業生は、それぞれが得意とする分野の問題発見・解決のための必要な知識を、ひとつの学問にとどまることなく学び、情報メディアをあらゆる角度から使いこなし、大きく活躍しています。このコーナーでは、そのような政策情報学部卒業生からのレポートを順次ご紹介します。

蔣 愛琴さん(2006年3月政策情報学部卒)
HSBC投信株式会社 投資情報部

私は、上海出身、日本の経済・文化に興味を持ち、2002年4月1日に来日し、千葉商科大学政策情報学部で主に環境経済学を学びました。4年間、環境ISO学生会議に所属し、学生主導で行われた大学のISO14001取得活動の中で、東京ビッグサイトで開かれたエコプロダクツへの出展や、小・中学校での環境教育の実施など、多くの環境活動を企画・運営しました。このような様々な環境活動を通じ、Plan Do Check Act というPDCAサイクルを自然に身につけることができるようになり、その後の学習・仕事においても大変役に立っています。環境と経済を両立させた「循環型社会作り」を目指すことは、私の夢

となりました。

大学を卒業後、文部科学省から国費留学生としての奨学金を頂き、2年間、慶應義塾大学大学院経営管理研究科で学びました。修士論文のテーマは、政策情報学部で学んだ環境と経済の両立という観点から、「中国におけるSRI(社会的責任投資)ファンドの実行可能性」としました。

就職先は日系・外資系と悩んだ結果、最終的にHSBC(香港上海銀行)を選びました。理由の一つは、「HSBCは、The year of the Sustainability of the Bank 賞を取りましたよ!」という千葉商大のゼミの先生の大変嬉しい一言でした。世界で最も環境に優しい銀行で働いていることに誇りを持つべきことに気付きました。

2008年4月に入社してからは、各部署のローテーションやロンドン本社での1カ月間の研修を経て、2009年5月からHSBC投信の投資情報部に本配属されました。現在は、ブラジルとロシア関連ファンドのリサーチと、お客様向けのレポート作成に携わっています。将来は、「中国におけるSRIファンド(中国の環境に優しい企業に投資する)」を立ち上げたいと考えています。日本で学んだ環境と経済の知識を活かし、日中の懸け橋になれば幸いです。

お知らせ

■入試情報【商経学部】一般入試A日程<3科目>2/2(火)・2/3(水)<2科目>2/4(木)
一般入試B日程<2科目>2/14(日) 地方入試有

【政策情報学部】一般入試A方式・1期 2/1(月) 一般入試B方式 2/14(日) 地方入試有

【サービス創造学部】AO入試・5期 1/31(日) AO入試・6期 2/14(日) 地方入試有

◎商経学部、政策情報学部はセンター試験利用入試も実施。◎上記以降も受験できます… AO入試、公募制推薦入試、一般入試後期日程など ◎お問い合わせ先 入試広報課 info@cuc.ac.jp 047-372-4111(代)